# 関する交換公文◎航空業務に関する日本国とスウェーデンとの間の協定の付表の修正に

# (略称) スウェーデンとの航空協定付表修正取極

スウェーデン側書簡	目 次:		平成	平成	平成
	ページ	(外務省告示第三八四号)	六年 七月二十一日 告示	五年十二月 十五日 効力発生	五年十二月 十五日 ストックホルムで

(訳文)

(航空業務に の修正に関する交換公文 関 する日本国とスウェ 1 デンとの間

の協定

の

#### $\Box$ 本 側 簡

します。 添のとおり ン、 二十日にスト の規定に従って千九百九十二年三月二十五日及び二十六日にス とスウェー ッ デンマーク及びノールウェーの航空当局との間の 簡 デンマー クホルムにおいて行われた日本国の航空当局 記 をもって の '修正することにつき合意したことを述べる光栄を有 デンとの 協議の結果、 ク及び ッ クホ 啓上 ノー 間 ル の協定  $\Delta$ たします。 ル で署名された航空業務に関する日本 日本国の航空当局並びにスウェ ウェーの航空当局が協定の付表を別 (以下「協定」という。)第十五条 本使は、 千九百五十三年二月 とスウェ 協 議 既に関 1 1 デ デ 玉

す。 意が 題に関する ものである 表に代わることを日本国政府に代わって提案する光栄を有しま 本使は、 閣下の 前記 返簡の日付の日に効力を生ずることを提案い 両 ときは、 国 政 の 府 提 間 この書簡及びその旨の閣下の返簡をこの問 案がスウェー の 合意を構成するものとみな デン政府にとって受諾し得 し、 たし その ま 合 る

よって、

本使は、

更に、

別添の新たな付表が協定の現行の付

つ て 本 敬意 -使は、 を 表 以上を申し進めるに際し、 します。 ここに重ねて閣下 に向 か

す。

(Japanese Note)

Stockholm, December 15, 1993

Excellency,

amend the Schedule to the Agreement Japan and Sweden, Denmark and Norway agreed to consultations, the aeronautical authorities of state that, as a result of the said as the "Agreement"), I have the honour to on 20th February 1953 (hereinafter referred to Sweden for Air Services, signed at Stockholm Article 15 of the Agreement between Japan and Sweden, Denmark and Norway in accordance with in the Attachment. the aeronautical authorities of Japan and of Stockholm on 25th and 26th March 1992 between With reference to the consultations held in set out

that the new Schedule as set out in the Attachment shall replace the existing Schedule propose, on behalf of the Government of Japan, effect shall be regarded as constituting Government of Sweden, it is suggested that this Note and Your Excellency's reply to that to the Agreement. If the above proposal is acceptable to the Accordingly, I have further the honour to

highest consideration to Your Excellency the assurances I avail myself of this opportunity to C renew

matter, which shall enter into force on the

agreement between the two Governments on this

date of Your Excellency's reply.

(Signed) Naohiro Kumagai

and Plenipotentiary of Japan to the Kingdom of Sweden

Ambassador Extraordinary

千九百九十三年十二月十五日にストックホルムで

スウェーデン王国駐在

日本国特命全権大使 熊谷直博

スウェーデン王国

外務大臣 マルガレータ・アフ・ウグラス 閣下

Her Excellency

Baroness Margaretha af Ugglas Minister for Foreign Affairs of the Kingdom of Sweden

#### 付表

## Ι 日本国の一又は二以上の指定航空企業が運営する路線

(A) 又は は 地 ブラッセル又はアムステ 点ーカイ グラデシュ )地点 点及び以遠の地点 両 マド 台湾における地 方向に、 1 ーリッ ロ バンコックー 及びパキスタン内 ľ ĸ アテネー 東京 ì フラン 1 大阪 点 口 ヤンゴンー ī クフルト・ 1 ル 香 1 福 ダムー マ 港又はマニラー ١ 岡 の地点 ジュ I 沖縄ー スカンディナヴィア コロンボ ーネー アム・ 1 中東及び近 - ヴ、 中国本土及び(又 マ ı インド・シナ内 イン チュ インド、 ーリッ ī 東内の地 パ 内 バ の ン Ł

(B) 地点 両方向に、 ースカンディナヴィア内の地点及び以遠の地 福岡 ١ 大阪 ١ 東京-北太平洋及びカナダ 占 内 の

(C)及 び 1 ア内の地点及び以遠の地 両 方向に、 (又は) ロンドン及び 日本国内の地点ーモスクワーアムステルダム 点 (又は) パリー スカンディナヴ

は、 輸 地点とスカンディナヴィ ム 権を行使することが ステルダ 路線○では、 自己が運送する途中降機 ム、 ロンド 日本国の一又は二以上の指定航空企業 できる。 ン及びパリのうちのいずれ ア内の の 地 旅 然客に 点との間 つい に てのみ、 おい , て運 かの ア

日本 国 |の一又は二以上の指 定航空企業が提供する協定業務

スウェーデンとの航空協定付表修正取極

#### SCHEDULE

AT'TACHMENT

### airline or airlines of Japan. Routes to be served by the designated

(A)

- directions. Scandinavia and points beyond, in both Brussels or Amsterdam - points in Madrid - Frankfurt am Main - Paris, Athens - Rome - Geneva, Zurich or and Bangladesh and Pakistan - points in Manila - points in Indo-China - Bangkok on the island of Formosa - Hong Kong or Tokyo - Osaka - Fukuoka - Okinawa -- Yangon - Colombo - points in India the Middle and Near East - Cairo on the Mainland of China and/or
- Fukuoka Osaka Tokyo points in in Scandinavia and points beyond, in both directions. the North Pacific and Canada - points

(B)

directions. Scandinavia and points beyond, in both and/or London and/or Paris - points in Points in Japan - Moscow - Amsterdam

<u>C</u>

only for its or their own stopover London and Paris, and points in Scandinavia or airlines of Japan may exercise traffic Note: passengers. rights between any point out of Amsterdam, On Route (C), the designated airline

The agreed services provided λą

らない は、 ることが 7 の飛行に当たって、 日 ٥ 本 できる。 ただし、 国 の 領 域 路 内 線 の 上 当該指定航空企業の選択により省略す の 地 他の 点を起点とするも 地点は、 ٧١ ずれ の かゝ でなけ の又はす れ ばなな Ŕ

II スウェ ١ デンの 又は二以 上の 指定航空企業が 運営する 路

(A) ンド の が地点 Ī 両 バ 方 ンコッ の 1 向 に、 地 近東及び中東 点 ク 1 スカン 1 ス リ 香港又は デ • ラン 内 1 の ナ グヴ 力 地 マニラー 内 点 1 の ł ア 地 内 パ 点 、キス 東京及び以遠 の 地 1 ミャ タ 点 ン ł ン 内  $\exists$ 7 の 1 1 の 地 口 地 内 点 ッ 点 の I パ 地 イ 内

(B) ア ij 両 ٦. 方向に、 1 シ トヤ ン スカンディナヴィア 諸島 内 の 地点丨 東京及び以遠 内 の地点 ١ の地点 アラスカ及

(C)京 両 方 向に、 ス カ ン デ 1 ナ ヴ 1 ア 内 . の地 点 I モ スク ヮ ı 東

(D) 阪 両 方 向 に、 ス カンデ 1 ナ ヴ 1 ア 内 .]の地 点 1 Ŧ スクワ ١ 大

る 定業務 ずれ ものでなければならない。 スウェ 注 従、 を開 1 の又はすべての飛行に当たって、 企業は、 路 始した後 線 ス デンの一又は二以上の指定航空企業が提供する協 (D) カンデ では、 関 に 西 ィナヴィア ス 国 ハウェ 大阪 際 空港が 1 への ただし、 Ó デンの一又は二以上の指定航 領域 区 医 業務を行うことが 路線 の内の **於航空** 当該 上の 業 地点を起点とす 務につい 指 他 この地 定航空企業 でき に点は、 て供用 うる。

い

any or all flights. option of the designated airline be omitted but other points on the route may at the begin at a point in designated airline or airlines of Japan shall the territory of Japan,

airline or airlines of Sweden. Routes to be served by the designated

- $\widehat{\mathbb{A}}$ points in India - points in Sri Lanka Middle beyond, in both directions. Kong or Manila - Tokyo and points Europe Points points in Myanmar - Bangkok - Hong East - points in Pakistan -- points in the Near and the in Scandinavia points in
- Alaska and the Aleutian Islands -Points directions. Tokyo and points beyond, in both in Scandinavia points in

(B)

- <u>(c)</u> Tokyo, Points in Scandinavia - M in both directions Moscow
- Ð Osaka, Points in Scandinavia - Moscow in both directions.

opened after the Kansai International Airport is or airlines of Sweden may serve Osaka only Note: to international air services. On Route (D), the designated airline

designated airline be omitted on any or all points on the route may at the option of the begin at a point in Scandinavia, but other designated airline or airlines of The agreed services provided by the Sweden shall

ノールウェー及びスウェーデン並びにデンマークの属領をいⅢ─この付表においてスカンディナヴィアとは、デンマーク、の選択により省略することができる。

III. The word Scandinavia in this Schedule means Denmark, Norway, Sweden and Danish territorial possessions.

(訳文)

次の書簡を受領したことを確認する光栄を有します。 書簡をもって啓上いたします。本大臣は、本日付けの閣下の

(日本側書簡

付の日に効力を生ずることを確認する光栄を有します。 とともに、閣下の書簡及びこの返簡をこの問題に関する両国 案を受諾する旨をスウェー 本大臣は、 の合意を構成するものとみなし、 更に、 スウェーデン政府が日本国政府の デン政府に代わって閣下に通報する その合意がこの返簡 前記の の  $\Box$ 政 提

かって敬意を表します。 本大臣は、 以上を申し進めるに際し、 ここに重ねて閣下に向 クホルムで

千九百九十三年十二月十五日にストッ

ス ハウェ

外務大臣 ーデン王国

マルガレータ・アフ・ウグラス

ス ウェーデン王国駐在

日本国特命全権大使 熊谷直博閣下

スウェーデンとの航空協定付表修正取極

スウェー

デン側書簡)

(Swedish Note)

Stockholm, December 15, 1993

Excellency,

date which reads as follows: receipt of Your Excellency's Note of today's I have the honour to acknowledge the

(Japanese Note)"

date of this reply. matter, which shall enter into force on the agreement between the two Governments on this and to confirm that Your Excellency's Note and this reply shall be regarded as consituting an the above proposal of the Government of Japan Sweden, that the Government of Sweden accepts Excellency, on behalf of the Government of I have further the honour to inform Your

highest consideration. to Your Excellency the assurances of my I avail myself of this opportunity to renew

(Signed) Minister for Foreign Affairs of the Kingdom of Sweden Margaretha af Ugglas

to the Kingdom of Sweden and Plenipotentiary of Japan Ambassador Extraordinary Mr. Naohiro Kumagai His Excellency

この取極は、昭和二十八年に発効したスウェーデンとの航空協定(現行条約集覧及び条約集第一

一一一号参照)の付表を修正するものである。